

第3編

処置料・リハビリテーション料

公益財団法人 労災保険情報センター

四肢加算

(1点未満の端数切り上げ)

1.5倍

(一般処置)

創傷処置

下肢創傷処置

熱傷処置

絆創膏固定術

鎖骨又は肋骨骨折固定術

重度褥瘡処置

爪甲除去(麻酔を要しないもの)

穿刺排膿後薬液注入

ドレーン法(ドレナージ)

(皮膚科処置)

皮膚科軟膏処置

皮膚科光線療法

(整形外科的処置)

関節穿刺

粘(滑)液嚢穿刺注入

ガングリオン穿刺術

ガングリオン圧碎法

鋼線等による直達牽引
(2日目以降)

介達牽引

矯正固定

変形機械矯正術

消炎鎮痛等処置

手技による療法

器具による療法

湿布処置

低出力レーザー照射

鎖骨・肩甲骨・
股関節含む

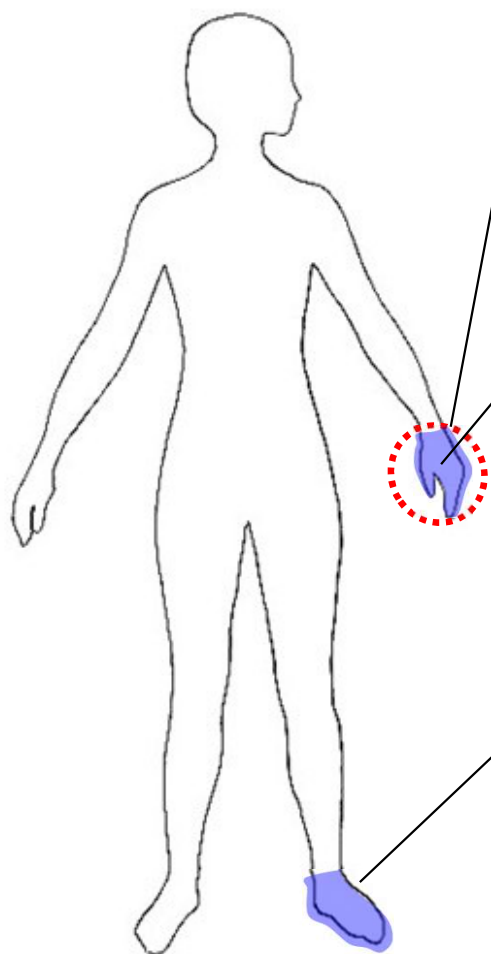
2.0倍

手及び手の指
(手関節含む)

例題

- ①左手背にドレーン法(その他のもの)
- ②左手背に消炎鎮痛等処置(器具)
- ③左足

四肢加算が適用される場合の
外来管理加算の特例は?



四肢加算

$$25 \text{ 点} \times 2.0 = 50 \text{ 点}$$

② 消炎鎮痛等処置(器具) ➡ 1.5倍

四肢加算

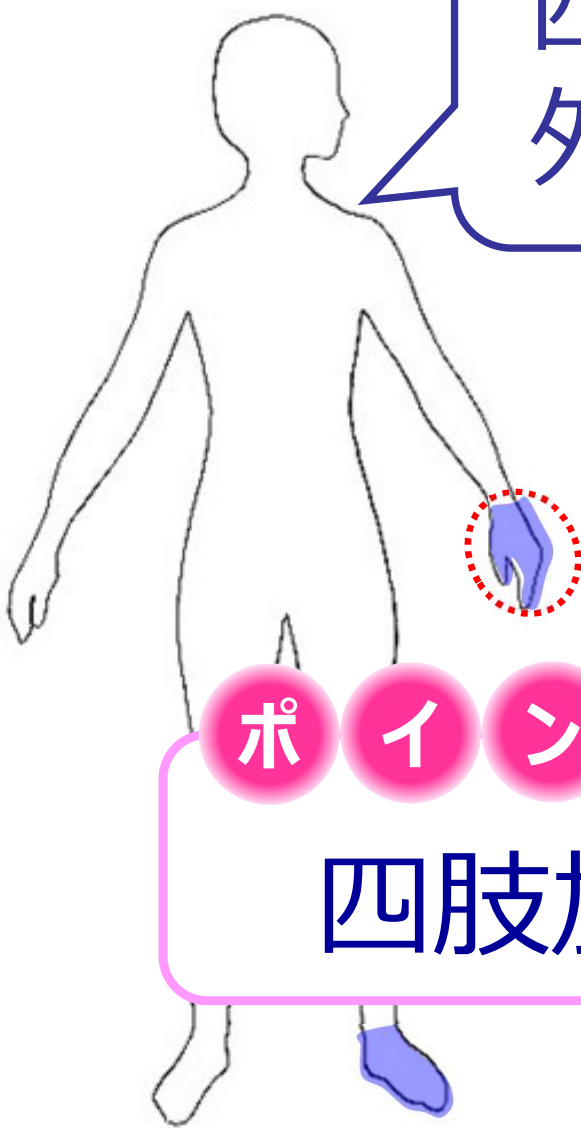
$$35 \text{ 点} \times 1.5 = 53 \text{ 点}$$

③ 消炎鎮痛等処置(器具) ➡ 1.5倍

四肢加算

$$35 \text{ 点} \times 1.5 = 53 \text{ 点}$$

四肢加算



四肢加算が適用される場合の
外来管理加算の特例は？

ポイント②

四肢加算後の特例点数が基準

例題

- ①左手背にドレーン法(その他のもの)
- ②左手背に消炎鎮痛等処置(器具)
- ③左足背に消炎鎮痛等処置(器具)

① ドレーン法(その他)

四肢加算

$$25点 \times 2.0 = 50点$$

外来管理加算
特例

< 52点 ○

② 消炎鎮痛等処置(器具)

四肢加算

$$35点 \times 1.5 = 53点$$

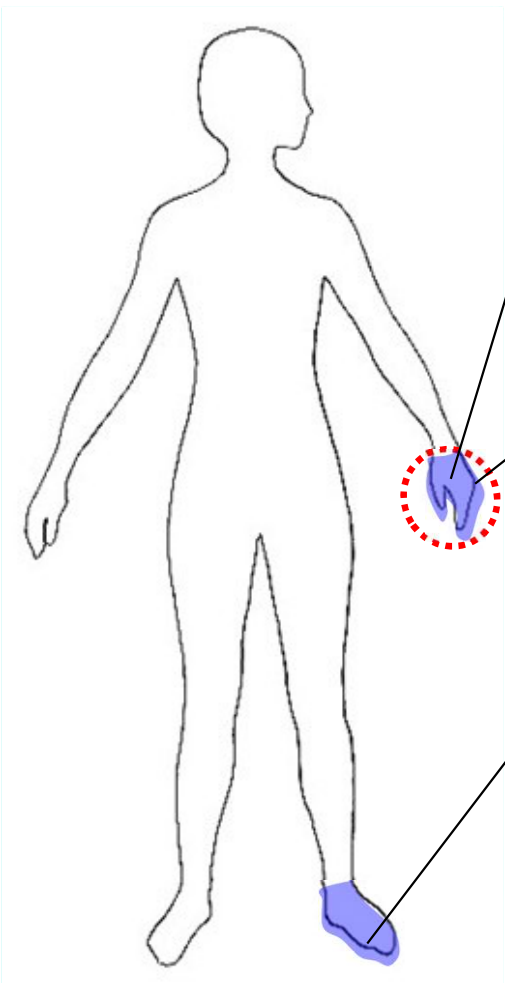
> 52点 ✕

③ 消炎鎮痛等処置(器具)

四肢加算

$$35点 \times 1.5 = 53点$$

> 52点 ✕



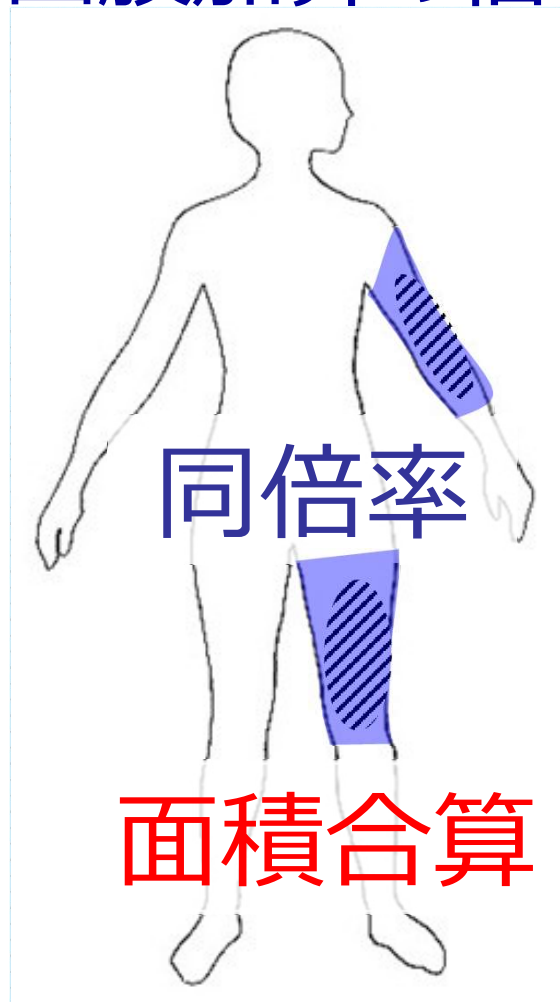
四肢加算

ポイント③

健保において処置面積を合算して算定する

「創傷処置」「皮膚科軟膏処置」「湿布処置」

四肢加算の倍率ごとに処置面積を合算して算定



疾患別リハビリテーション料

テキスト119・120頁

(1単位)	(Ⅰ)	(Ⅱ)	(Ⅲ)
心大血管疾患 リハビリテーション料	250点	125点	
脳血管疾患等 リハビリテーション料	250点	200点	100点
廃用症候群 リハビリテーション料	250点	200点	100点
運動器 リハビリテーション料	190点	180点	85点
呼吸器 リハビリテーション料	180点	85点	

早期リハビリテーション加算、初期加算、
急性期リハビリテーション加算、
休日リハビリテーション加算、
離床を伴わずリハビリテーションを行った場合

…算定可

A D L 加算

30点（1単位につき）

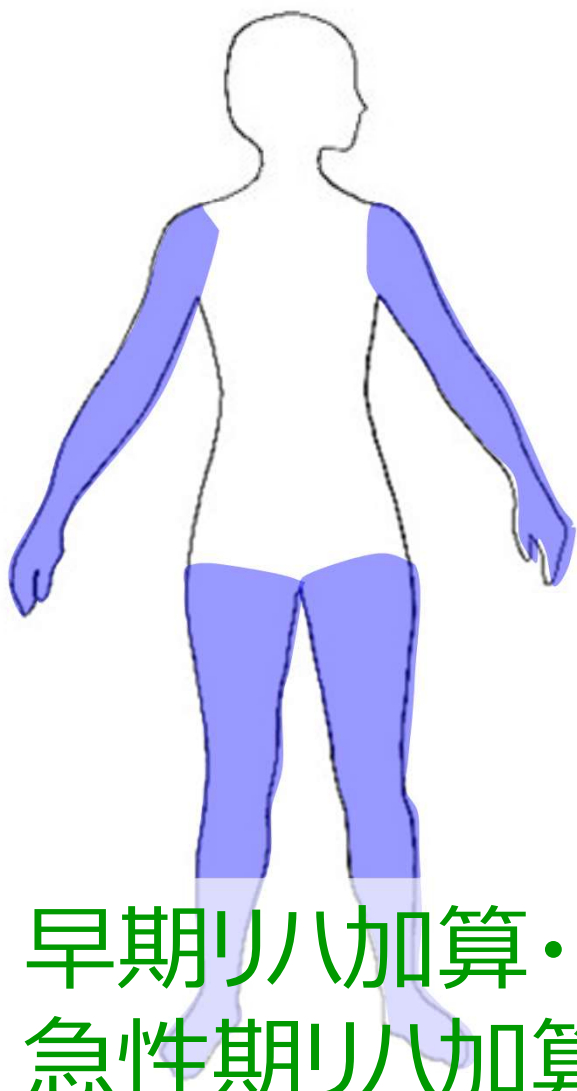
入院中の傷病労働者に対し、
訓練室以外の病棟等において 早期歩行、A D L の
自立等を目的とした疾患別リハビリテーション(Ⅰ)
(運動器においては(Ⅱ)を含む)を行った場合

又は

医療機関外において 疾患別リハビリテーション(Ⅰ)
(運動器においては(Ⅱ)を含まない)を算定できる
訓練に関するリハビリテーションを行った場合

四肢加算 1.5 倍

鎖骨・肩甲骨・股関節含む



疾患別リハビリテーション料

心大血管疾患リハビリテーション料

脳血管疾患等リハビリテーション料

廃用症候群 リハビリテーション料

運動器 リハビリテーション料

呼吸器 リハビリテーション料

早期リハ加算・初期加算・ADL加算
急性期リハ加算・休日リハ加算

... 四肢加算
対象外

標準的算定日数に係る取扱い

必要性及び効果が認められる場合は、標準的算定日数を超えて算定できる。

標準的算定日数を超えた場合の
「単位数上限」は適用しない。

「単位数上限」(1月13単位)を超える場合は

- ・レセプト摘要欄に医学的所見等を記載
又は
- ・「労災リハビリテーション評価計画書」添付

処置の特例

介達牽引、矯正固定、変形機械矯正術
手技による療法、器具等による療法
腰部又は胸部固定帯固定
低出力レーザー照射

負 傷

1日につき
受傷部位ごとに
3部位限度

疾 病

1日につき
3局所限度

算定例 2

右手背に消炎鎮痛等処置(器具)
右前腕に消炎鎮痛等処置(器具)
左上腕に消炎鎮痛等処置(手技)

労災

① 負傷の場合

受傷部位ごとに 3 部位を限度

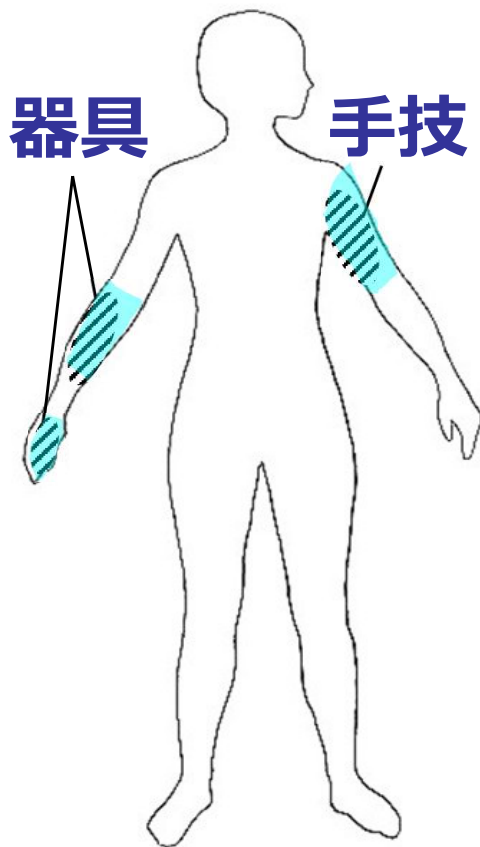
四肢加算

右手背 35点 × 1.5 = 53点

右前腕 35点 × 1.5 = 53点

左上腕 35点 × 1.5 = 53点

1 5 9 点

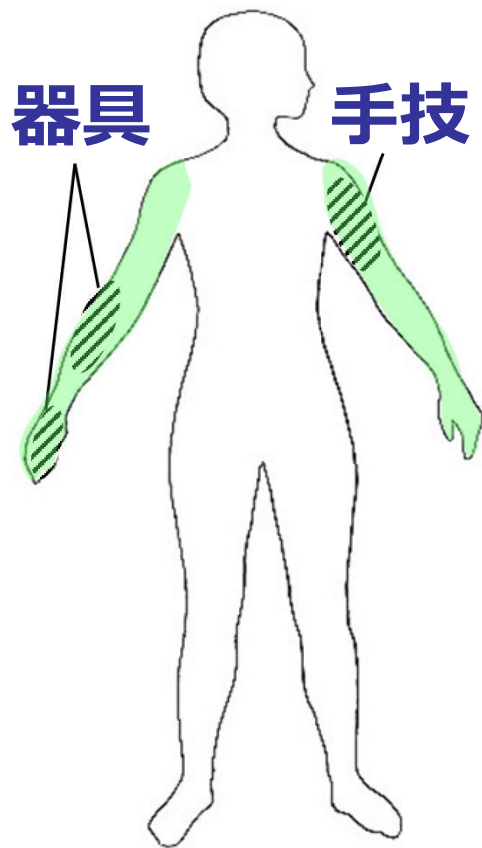


算定例 2

右手背に消炎鎮痛等処置(器具)
 右前腕に消炎鎮痛等処置(器具)
 左上腕に消炎鎮痛等処置(手技)

労災

② 疾病の場合 3 局所を限度



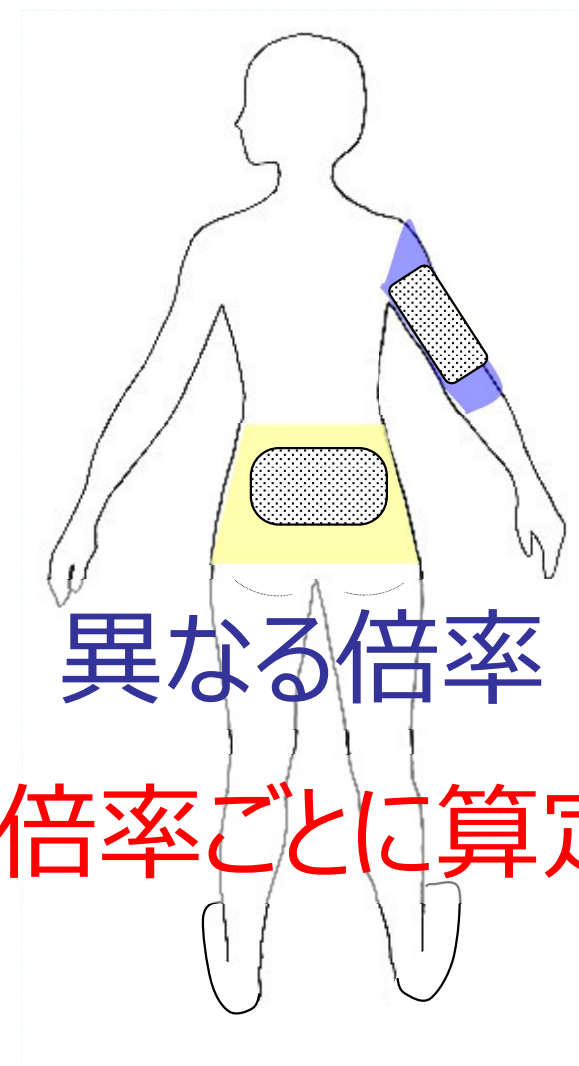
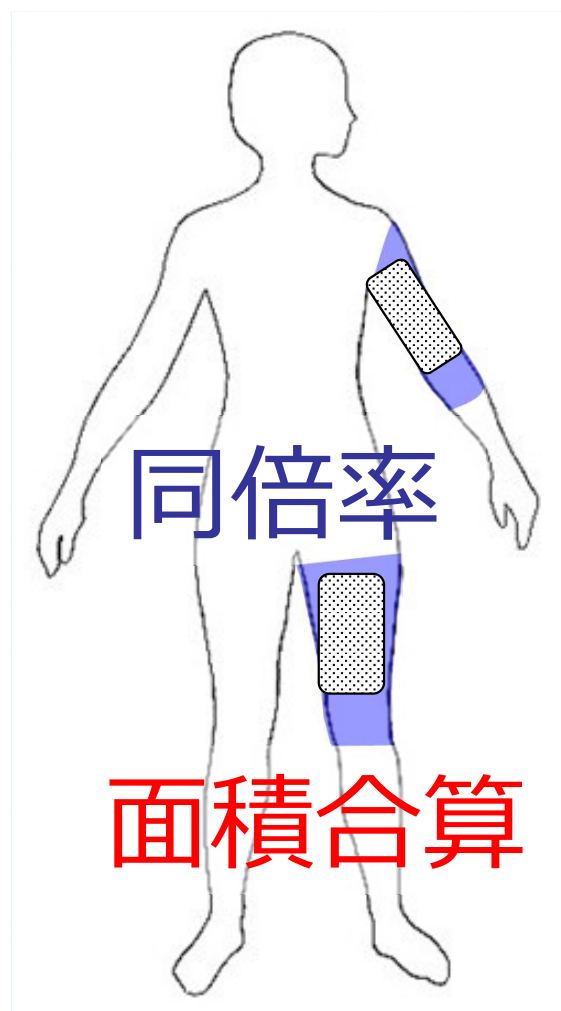
右手背	}	四肢加算 35点 × 1.5 = 53点
右前腕		
左上腕		35点 × 1.5 = 53点

106点

処置の特例

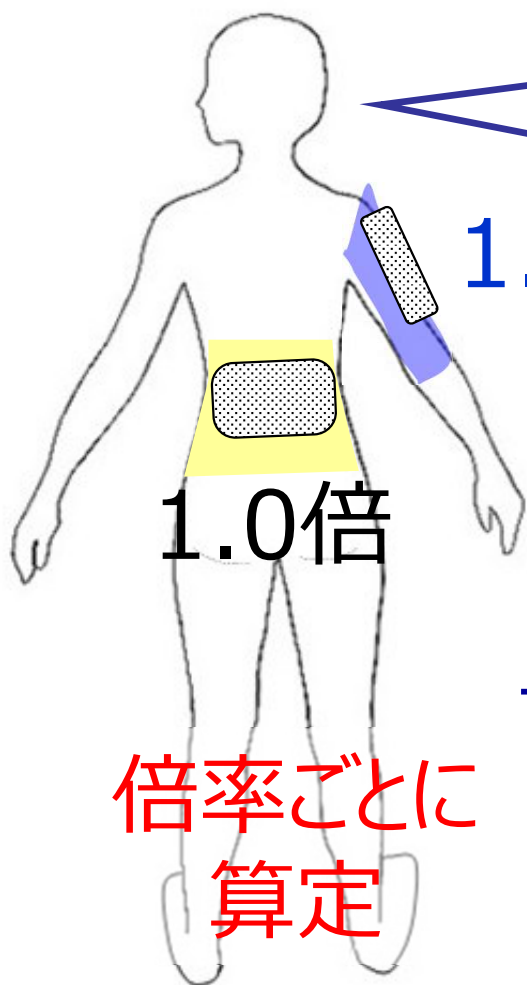
「湿布処置」

四肢加算の倍率ごとに算定し合算



右上腕部と腰部に湿布処置を行った場合 (各々半肢の大部以上の範囲)

外来管理加算の特例は？



1.5倍

1.0倍

倍率ごとに
算定

四肢加算

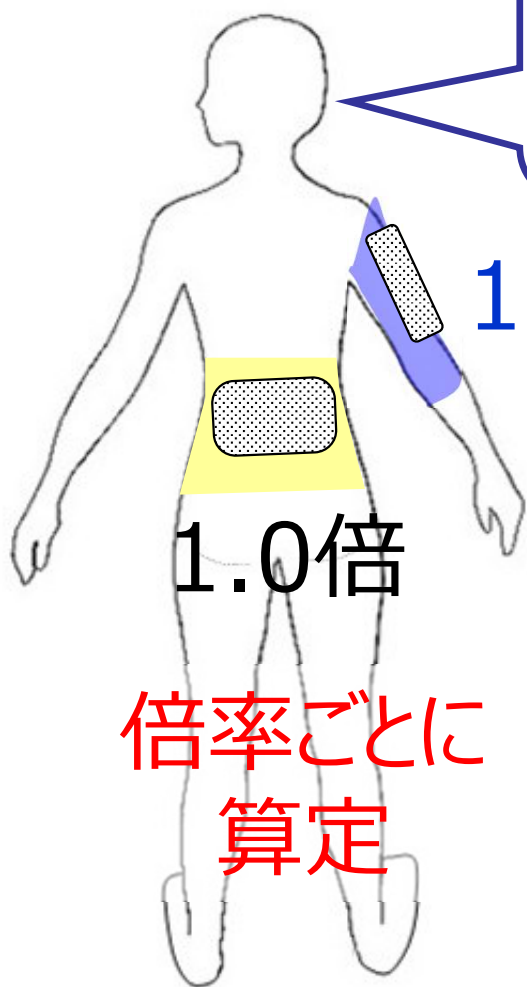
右上腕部
腰部

35点 × 1.5 = 53点
35点

88点

右上腕部と腰部に湿布処置を行った場合 (各々半肢の大部以上の範囲)

外来管理加算の特例は
四肢加算の倍率ごとに算定し合算
した点数を基準に判断



1.5倍

四肢加算

右上腕部	35点 × 1.5 =	53点
腰部		35点

倍率ごとに
算定

52点 < 88点

外来管理加算特例



リハビリテーション及び処置の併施

湿布処置等と介達牽引・手技・器具等の併施
⚠異なる部位（局所）に行った場合に限る

湿布処置 等

四肢加算の倍率ごとに算定合算

+

介達牽引・手技・器具 等
合計 2 部位（局所）まで

又は

介達牽引・手技・器具 等
合計 3 部位（局所）まで

算定例 1

テキスト135頁

右上腕と左手部～左前腕に湿布処置
右下腿と左下腿に消炎鎮痛等処置(器具)
腰部に消炎鎮痛等処置(手技)

【湿布】

湿布を算定する場合

四肢加算

四肢加算

$$35点 \times 1.5 + 35点 \times 2.0$$

【介達・手技・器具等(2部位まで)】

四肢加算

外来管理加算特例

$$35点 \times 1.5 + 35点 + 52点$$

263点

【介達・手技・器具等(3部位まで)】

湿布を算定しない場合

四肢加算

外来管理加算特例

$$35点 \times 1.5 \times 2 + 35点 + 52点 = 193点$$

リハビリテーション及び処置の併施

リハビリと介達牽引・手技・器具等の併施

 介達牽引・手技・器具等は異なる部位（局所）に行った場合に限る

リハビリテーション

+

介達牽引・手技・器具 等
いずれか 1 部位（局所）

又は

介達牽引・手技・器具 等
合計 3 部位（局所）まで

算定例 2

右下腿 運動器リハ（Ⅰ） 1単位

テキスト137頁

消炎鎮痛等処置(器具等による療法)

右上腕 消炎鎮痛等処置(器具等による療法)

左上腕 消炎鎮痛等処置(器具等による療法)

リハビリを算定する場合

【リハビリ】

四肢加算

$$190\text{点} \times 1.5$$

【介達・手技・器具等(1部位)】

四肢加算

$$35\text{点} \times 1.5$$

338点

リハビリを算定しない場合

【介達・手技・器具等(3部位まで)】

四肢加算

$$35\text{点} \times 1.5 \times 3 = \mathbf{159\text{点}}$$

リハビリテーション及び処置の併施

リハビリと湿布処置等の併施

リハビリテーション

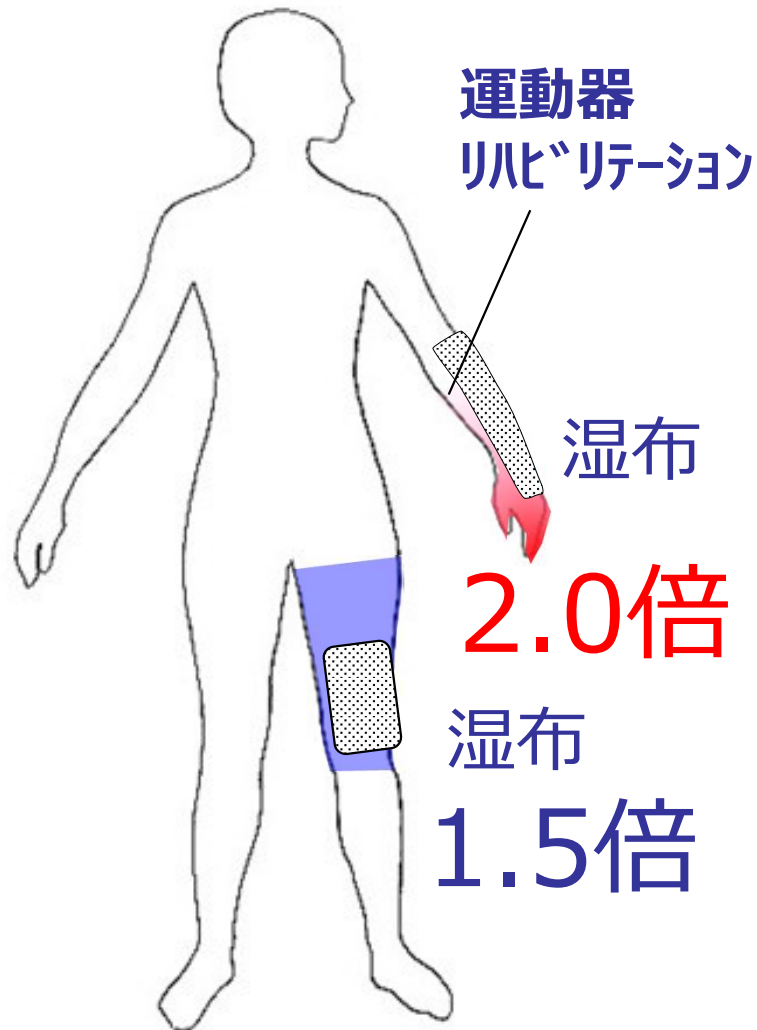
+

湿布処置 等
(いずれか 1 部位)

算定例 3

左手部～左前腕
左手部～左前腕
左大腿

運動器リハ（Ⅲ） 1単位
湿布処置
湿布処置



リハビリテーション

+

湿布処置 等
(いずれか1部位)

【リハビリ】

85点 × 1.5

四肢加算

【湿布】

35点 × 2.0

四肢加算

198点

リハビリテーション及び処置の併施

リハビリ、湿布処置等と介達牽引・手技・器具等の併施



湿布処置等と介達牽引・手技・器具等は異なる部位(局所)に行った場合に限る

リハビリテーション

+

湿布処置 等
いずれか 1 部位

+

介達牽引・手技・器具 等
いずれか 1 部位 (局所)

湿布処置 等

四肢加算の倍率ごとに算定合算

+

介達牽引・手技・器具 等
合計 2 部位 (局所) まで

又は

介達牽引・手技・器具 等
合計 3 部位 (局所) まで